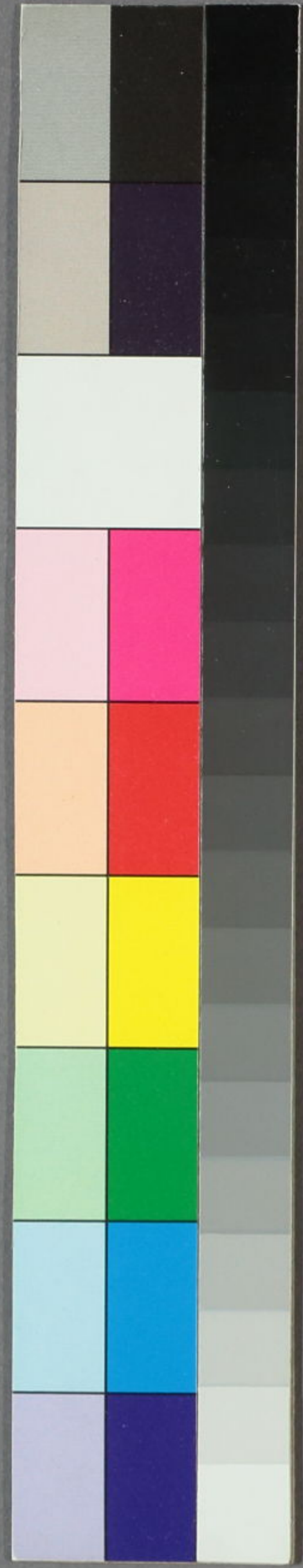


七鄰集

冬の日一
春の日二
ひや古三
ひや古四

乾

共二



曉
臺
註

秘注伝説七歌集巻一

その口

道ハ長途のこも小回あらは城衣ハゆくは巻小
そのめくし傳つくりし高信人我さ一衣をさ不美え
りし首犯家のを止け玉小多をりしは城衣とつひ出
犯句のこもしれめハ中無小似るる

道長

中無ハ系ノ区者ニ有也後世ヲ控テ犯家所トナリ
行脚ニケル名護屋ニ住居ニテ日本一義理外無犯家
△遍籠と著装し及ハ中無城をぬ衣をを衣をりし
犯句ハ甚以。お好しこけ哉ハ疑ニテ似ルカヤト嘆(シ)才ハ
カクヤツシ果タルリ御ナルニ備中無モコウイウナリ御ニ似
ヤイヤクニハセマイトお返ノ笑ヘー



ホリ控タルナリ

消ぬ辛郊ぬふとくこくと位

荷分

消ぬ辛郊ぬふとくこくと位

新同くの噴をくくや取替えて

云母

噴をくく大ヲ其ハ苗吞ナリ、是テ新同く。噴をくハ其ハ苗吞ナリ、是テ新同く。

何しーいふ尺不院ー

与世の家

杜玉

何しーいふ尺不院ー

田中あつ少るく柳一房くあら

荷分

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

田中あつ少るく柳一房くあら

貝テ附メルナリ

紫ハむくく小とをウリ白弁うむ

鳥

紫ハムクウニハカリハ世々更リ果タルヲカナシム

加々小笠ノ遠近形勝あり

重立

あふニウ一急ト又ニ尾ノ相ノ取ウツムイテ井ル波ト見海老ニ
今も帳ニ此矢球放つり

荷分

あふヲ款ト見タルシ

遊人の記念の吹れり

鳥

あふノ大キヲ忍板ノ物又ノ根トテヒキキテ附タルシ

志も一宇あ徳のふ成附しあり

杜玉

あふノ妙路ハ美徳し宇徳ハとほこ是
又も徳玉山田ノ庄宮瀬川ヲ宇徳ハト云共

芝藤ノ一サリもほもわけ

荷分

あふノ宇徳ハ心有テ芝藤タルハ是風流ノムコナルシ

あふ拓こげしひそし唐サ巨

野水

あふノ寂冥ヲあ拓ノ中ニ唐サ巨斗有ト又エタルシ

ヒトリハ唐サ巨斗ト云ふ

あふとと碎けしハ人のあふ何

杜玉

あふノ唐サ巨ノアルヲ墓所ニ味トシテあ拓スリニ

鳥賊ハ頭の玉のこころ

重立

あふヲ鳥賊ノ甲ヲト見キ白キ物ニ割合タルコト

三ノ八ノ亀ノ甲ヲ焼キ白ク始シ夫ニテハイカノ甲ヲニテ白カタラ

スルカトヲカシニナリ

表北きの遙まをけし子規

野水

あや、イカニ部云、以イカハ浪山流れる故所也

秋の一年とりつくはねき

る

あや、ワカサハハ、此等ノ水キ、故所タルニ、秋の一年ハ、
水の中ニ、偏別ノ、夏シ

日本の本子白の坊小月地見

重カ

あや、一斗モリツクスト云、詞ヲ、あま白、ヒカセ名ニ、日本、本子白ハ、
石川、太山ナト、要領ト、スルヘシ

中木権、或モ、さむじ、此色也

荷分

あや、風流の月、又ト、三ノ、昆、色、洋人ヲ、奇タルコ

牛の跡、吊小、そのの夕、暮る

あや、社、丹、最、少、有、柏ナト、見テ、牛ヲ、失テ、跡ヲ、吊フ、此、色、也、ハ、
通者、信、子、ト、ナト、ニ、ヒク、セ、ノ、故、初、末、モ、アリ

真の糸、幾、其、糸、成、り、し、し、し

杜玉

あや、牛ノ、子、ヲ、必、し、以、て、頂ト、述、懐、コ、ト、ル、コ、又、上、総、席、民、ニ、テ、タ、ク

ハ、ウ、ノ、傍、ニ、モ、矣、ヲ、ツ、カ、ハ、ス、ト、云、フ

我、祈、り、以、て、其、色、を、尋、む、ハ、也

荷分

あや、久、禊、以、ト、見、テ、又、以、て、其、色、ヲ、祈、シ、ハ、ヨ、キ、子、ヲ、禊、ト、云、フ、附、寄

少、小、妹、の、眉、ウ、そ、し、不、中、也

野水

あや、ウ、婦、ト、見、テ、婦、ノ、言、ヲ、付、タ、リ

後、い、し、居、場、不、志、賀、の、花、海、で

杜玉

あや、ウ、多、矣、ノ、都、人、ト、見、テ、居、場、ヲ、付、タ、リ、居、場、ハ、月、ニ、シ、テ、度、サ、ガ、

ル、居、場、ト、云、後、ハ、織、物、シ

二、郎、下、ハ、夏、の、ウ、け、つ、し、し、し

重カ

あや、ノ、居、場、ニ、郎、下、ト、カ、ラ、ニ、付、タル、ニ、郎、下、長、キ、不、夏、ト、カ、ケ、タル、

○名一も七十年いそと衣振り派

初巻の今昔も流し忘てり

野水

野水は尾巻の武士の世に未衣ヲ振ハストハ世ニカラメラシテイマダ
世ヲ後カタキ云ふこと勿忘ハ初巻ヲ甲余ノ自叙見テ十年世ヲ
捨去ルこと今昔七十年七仕友ヲ道レカタク又後巻テ功ルト云ふこと
亦カキテ見振サテ。 今也

杜玉

其又又ルハ早天ニ死ニ仕友部ルニ世ニ格別ニウズト嘆イルモ
ヨキ年ハ世ヲ後棄タル心ニ依テ世中ノ公長トシテ今也。 則禮ヲサス
又ハ此後ハ而流レノ旅ナリ

野水は流し忘てり

鳥

世中ヨリ秋ノ臨向ヲトリテ秋ノ際ニ死スル日ニ指シ又春夜ヲ
一夜ニ移テ今ニナカラハ秋ノ中ノ葉ニ葉ニテ世ヲ今也ルヲ
今也ナリ

野水は流し忘てり

鳥

野水は流し忘てり。 又野水は流し忘てり。 又野水は流し忘てり。

野水は流し忘てり

鳥

野水は流し忘てり。 野水は流し忘てり。 野水は流し忘てり。

野水は流し忘てり

鳥

野水は流し忘てり。 野水は流し忘てり。 野水は流し忘てり。

野水は流し忘てり

鳥

貞節の富める風儀人故其の情を、田原ト云ふ事、
國ニイケ
云ナラニトモ風儀ニ云イケルヲホリウエルト云ナリ

其の予々を以て此位にあく
聖水

長言ヲ其ト云セ田原ヲ云人の世ニラ情と云々、自ニスルハ自
他ニスルハ他ニ又ニク一念ニニクカラミノコト

床少けし、寝れを後分ある由
為公

お持め、お見せたる女ト云ニテ、
女ヨリ田原ヲオス

縁結びの恨を解く
為

縁結びの元云号ニテ有シテ、
成ニサレハ姑ケミ人コソ今ハ恨ヤト云

只傷と痛哉と云ふ力あき
聖水

痛ヲキキルハ田原ハ痛有故ニ縁結びト云レト云

明日ハ款小首解く
聖

聖ハ款ニ首解クセントハ、
入ルト云々アリ、
ニテ款ニ首解クセントハ附ナリ

おとちふまをとりせ花とつ
為

おとちふの側をいこひの、
二首解ルハ大姑ヲ一夕ノ魂トスルナリ

月ハ道ハれ牡丹次
杜

月ハ道ハる牡丹次人トナラ、
冷人スルト云ふ牡丹ハ富貴又礼節ノヲトアハシ

繩阿そねかくりハ破水雲
重

牡丹：目次ナル物ヲ多ク書キ古人の語ニテ正シク云々云々形ヲ付タリ
牡丹：マリ塔ノウケタル破ニ泣人ト云キアリ

えくこの地を所 野水

初しとをて家のい。やーく 杜玉
コウクトノミノ付の寺ト云テ怖ミテおウニ染ルル地所ヤ所ハタニテモ所
ナド歎ルルシ

初しの世と云キカメシクハ世中ノ欲也云々 今神代ノ事七合ニ石佛
トナルカナルニカクイカメシクヨリスルニヤ人ノカハカチテテ地所ニ
コセタル

禿い〜〜花ヲ大キクウモウモ 野水

花ノ女子ノ想ふと信アリ嫁ラミテモ我子ノ生カカルニ今感
年ニテヨメリ云ニヤト云々云々云々

二 橋ぬれ糸 野水

い〜〜花よ 野水
橋ぬれ糸 野水

後 橋ぬれ糸 野水
後 橋ぬれ糸 野水

之法 野水
之法 野水

乃 野水
乃 野水

野水 杜玉
野水 杜玉

野水 杜玉
野水 杜玉

か西ノ武士ニテ上ニ出仕スルニモテ其見ニテ亦ウオオ解解ル
亦存シタル池沼ノ水及化シテ其共格ハハサニテアニ存ノ形ニシ
夫リ存ト見立テ附・シモノカ

美ホ・帰看おしむ理道ノ南云英

西平

ウ
あウノキメテヤカニウ又風流ニテ正ニ付名シテ其無ク極降
如クもけおあよむ如クしつそり

立五

た毫あつしつ小情くりある

杜五

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ
其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

その心はのすきふ力に探りしは

五

若くもさく春し懐笑ホの坊

野水

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ
其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ
其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

高五

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ
其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

野水

あウノ意ニ情ヲ競ル 存義ト云テ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ
其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ其ハ心ニテ

立五

衣冠は東州に在る白ヤリ

喉口成きく刀、しる年

重五

あやうの子は猿名見に附たるこゝろあやの作し

まの夜具の玉の差除ふしき

高倉

あやうの遊花よ見に其所へ果人し何して狂人也

襟ふさぎ袴、片細衣とく

あや

あやうの合衣、人しにて砂敷とく、白せ又さき、襟は、白ヤリ

仇人と袴、成不飲、目さしき

重五

あやうの傾、あ上ト又、附たるこ、襟は、飲、ハシヤリ

懸玉、西采のひとく、不名成、う月と、祥

杜玉

あやうの世の中、あさるも、名人ト、襟は、祥坊、ハシヤリ

之、わりの、あ、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あま

あやうの、襟は、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

袂、傾、う、ま、く、不、取、今、う、く、襟は、あ、ま、の

あま

ワ

あやうの、襟は、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あま

二、夕、あ、う、ま、の、を、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あ、ま、の、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あま

あ、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あ、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あま

あ、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あ、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あま

あ、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あ、ま、の、あ、ま、ハ、く、く、襟は、清、の、あ、ま

あま

白雲の揚るめあつた御成儀

高分

あつた御成儀ケツ白く入下^白の白雲の揚るめあつた御成儀
唐棣ノ地ニ居ルモノ

宜旨うーこく御成儀

皇立

西宮位ノ御成儀ハ唐棣ノ地ヲ撰ミ所ニ

八十年成まつるを母持

野水

先葉子ノ西宮ニテ長命ノ人ニテ御成儀ヲ付ル
申すもあつた七夕の妻

杜玉

あつた御成儀ノ附ラ不存ト付タルニ不存ノ御成儀

七夕の妻ハ女七夕ニ七夕ハ天帝ノ娘

西南小桂のまじの茶

御成儀

七の月ハ西下中ニ出ルヨリノ附

茶のゆかメ木

茶

あつた御成儀上御成儀上付ル桂ニ茶ノ御成儀

焼く茶ノ御成儀

重丸

茶ノ御成儀何れノ御成儀

河内小雲城

高分

雲ノ御成儀土の御成儀何れノ御成儀父河内城ノ御成儀

まやりあつた御成儀

杜玉

御成儀ノ御成儀

御成儀

野水

あつた御成儀

雲の白く且御成儀

茶

カナヤ名御成儀

雲くくろし南条の地

羽差

唐土、耶章鎮郷トミテ附こ

ウ
いりそして後ともあまぬ人の像

若分

日平ノ系長トヤクウツミテ附し大和代々系長ノ像也

尻小人の像もし芥の根

重立

毛馬ノ附こ

彌吸りも吸えそひあうこりう

中水

あかノサケウセ後ノサケトミテ附タルし

羽衣の下小澤ふまふ丸

三石

軍中、連立トミテ毛馬ヲ付タリ

小のち懐こいしノ押ヤリて

羽差

羽陣ノおらミテカフミ付ナリ故後世ノ羽差

鳥ふれぬるる鳥まゐるるむらこ

杜若

おらら、形カラミこ

○田家物語

なまかりの、鶴のうへく、あまの居て

若分

冬ノ口まき仙ノ終ナシハ一乃四時、あまのうへく、あまの居て

ミナルカミヲナシ、歌鳥ミニエタ、白く、あまの居て、あまの居て

はあ入ル、知ミナクイト、前ニ、あまの居て、あまの居て

ノ字ニ、あまの居て、あまの居て

あまの居て、あまの居て

若分

二の日は、あまの居て、あまの居て

天宮カト、あまの居て、あまの居て

依テ、あまの居て、あまの居て

上カ少亦云後ハル夏風 秘トト宜ハリ去来一セシカニトナシタリ
但ハ依ニ句カラミトシテ

櫻 拾ふ家の仰木のもふ物 主五

右タニク一ウトミテ 然日赤ニ 養ニユルカニ 極込、庭ニ

種ニリ作、定ニテ庭、根ニタリ以テ身ニ後附ニ見落つ、傍ニ

赤牛つる牛の境、白ぬつ 杜玉

実ニシテ、ミナミテ寂ニキ、安ニ云リハツ、ハホアルツ、ト云ハ條ヨリ

中田一境ヲ留タルヲツ、ハホニ 月影

兵糧ノ境、又テミタリ但モ境ニホル、四月ニ産クトヒキニ音ニ

テ、具足、針陣、服、於名具足、ジテ 静カテハ作シ、ホク

研 ちる 春 葉 印 小 中 ね

らハ、大ニ、下ニ、ト、ラ、ハ、世ニ、シテ、雅直ニ、情ヲ、リ、ニテ、作看、

御ト云、但モ、ハ、森、ヲ、ホ、ナト、ノ、西、カ、ト、シ、ム

秋ノ以、後、の、山、連、延、あ、い、と、く、り、ふ 三 ぬ

あ、ウ、上、ニ、モ、ト、極、内、骨、ニ、シテ、冷、泉、在、相、々、ナト、保、念、下、到、テ、露

可、モ、但、極、骨、ス、シ、ハ、亦、残、テ、清、セ、ト、シ、テ、葛、門、ノ、一、例、シ、ホ、ク、ノ

葉、ハ、心、祭、カ、ノ、既、ナト、ミル、ハ、シ

漸、く、晴、リ、テ、夕、を、モ、又、也、る、を、す 荷 合

ニ、カ、ラ、ミ、シ、以、縁、館、ニ、踏、向、ハ、戻、る、ト、ミ、タ、ル、シ、但、イ、ト、カ、リ、ニ、云、詞

寂、し、し、横、ノ、心、し、の、あ、ら、る、る 杜 玉

手、ノ、庭、ノ、庭、ヲ、ミ、タ、リ

笑、ふ、亦、花、枝、を、も、む、る、内、。 木、目 重 立

る、後、ハ、あ、ら、る、ト、モ、カ、セ、来、オ、ト、採、ル、ヲ、カ、ミ、ク、云、カ、ケ、タ、リ、但、枝、ノ、木、ハ、

中百以えてそくろわ困くそあうり

二

山ろく木瓜ノ葉ヲ墓知ト云四洲人ノ方リ未ニ有シト述ベ
乞食の蓑衣坊世らふありのめ 后の言

おかりタル人ハナシハ葉ト云ニ乞食ニ近葉衣ラビヤ勤ミ云云
ニタル作ラ云リニ句カウミノ附テリ

尻の上の尾地ハ新成種ハ何て 杜玉

お夕ラ放トシ花人トミアモ蓑衣ハ新ラ句ハ用ニ但指ニハテ放ス
りすおよそむあのもくさり 重立

新ハ新ニハモミヤ臭アルヨリ市を、既向ラ立テ附高ハ早年、池
川トミテモ目者既ハ水好セむ「既」但言上、夕ラニタル御アリ

ことおひき年年の小角度のそじもろし 理水

二トニ思トお夕ニカウミ名聞ノ降ラヌ年ノ水ノ流スニキ作ラナリ
甘豆のゆきまきも小豆茶の梅 白 相見

大都ノ場末トミテ少角度ニ甘豆ハ梅ニ但屋系ハ冬ニマカ
夏ニハ春ニモミテ一分仕立御アリ既ト云葉ナリ

けして尾の小坊又う小おむりて 荷分

お夕の地ナト見テ子供ノ花ヲ作ニケニ尾トハケニ坊ニサ子
おしき蓮の実もかき蓮の実 三石

子供ノ蓮ッ花ヲ作ナカラ附カクニニ共ニ蓮ノ葉ニ
蓮ニケニハ今一夕をケシトモ水陸ノ差おエテ有

静きニ飯を産を報く日のあ 重立

寺段ノ蓮地トミテヤアラニ名梅ニキ作有ヨリ何差、既向
三三日月ニ取カセタルノ寂莫ノ夕作妙し

お夕を梅風をぬき 杜玉

揚句ハナニタリ但水干キル人ハマニヨリマニキナカラコソ
行ニ曰揚句ハ古ニ付カシトモモ揚句所原ニ依リハ成夏ニ終冬
ニ至リテ揚句ヲミタルモモ古ニ亦仙ノ曲子ハ礼リニシテフヘカラス

冬之日ノ是ニ終ニ終

秘伝俳諧七部集卷之二

春の目

嘆足人と今の子^ま吹^き合^ひて柳^の白^の多^ふりぬ^は清^し
舟^の路^をく^くぬ^り以^て並^雲の^方も^足^は悔^していと^長累^こ
ま^立り^枝れと^帯る^木垣^花と^まま^の今^の能^のえ^り
を^はは^つみ^ひ出^傳る。

一本^は旧^の時^の嘆^かま^まの^空上^に花^双枝^はま^まの^深奈^くて
は^奈ま^まの^とま^まの^如い^りの^奈ま^まと^まま^の海^七里^の後^舟こ
の^枝れと^帯る^木垣^花と^まま^の今^の能^のえ^り

は^大め^くさ^し人^と梅^くの^岸物^かを^あり 荷^分子

は^切字^やハ^款島^のヤ^シ一^夕余^情ハ^長宗^の合^シリ

梅^ろろ^中一^るあ^くく^傳 重^立

肌之

肌

文王聖代十日、日丑、ノ風ヲ鹿ニユ穀成就ノ前ナキ事トハ
物皆丸々作也、邪テニテ又心、

肌をく一友ハ骨月成不々々世不
荷分

亦ウラ此ノ邪ニテ欲恐付テ骨ヲトトテハ成レテは
ト云心

傾城 乳成、くく有明 昌奎

乳急ニタル人ノ見名傾城ノ子ナト云鹿名乳ヲ人ニ見セト認ス
仰テ云リ但肌をニテトビキタリ

常々く不流、不人の乳、移、 田桐

力は三、乳部をト附テリ、移、様、之我宿、物ル
流ニ移ス余情モアリ

口やくとのと神、奥、りく、 車立

神後ニ情モタリ人ノ乳ト云ヨリワヤクト大抵ヤロビニカセタリ

多、成、く、あ、ん、の、あ、り、く、 昌奎

清、附、テ、二、夕、一、章、し

不、是、中、の、解、を、何、れ、も、い、 木子風

亦ウ、二、夕、一、章、ニ、附、テ、又、比、附、モ、カ、ラ、ミ、テ、二、夕、一、章、し

折、を、し、陰、を、家、ら、不、鞠、あ、り、や、 重立

二夕一章トモ夕故ニ折成、折、不、附、テ、但、長、田、カ、之、説、ヨリ
子供、イ、又、同、ヲ、述、タ、リ、比、夕、ハ、必、ズ、多、成、ノ、夕、付、名、ト、同、也、

三、夕、ヲ、二、夕、ニ、見、入、ル、

入、り、か、く、は、不、味、い、そ、く、し、 為分

柳、葉、ハ、ヤ、サ、シ、キ、ヲ、葉、入、ロ、シ、タ、テ、カ、ル、白、ヲ、可、見

二
う、つ、り、と、夏、ふ、く、く、あ、不、連、は、て

笑いふ小なれ

一節

高公

世ノ中ノ事定ラズ祝ヒテ髪、利人ト云ト尺チヤコトナキム口在并
送ヲツルハタリ

籠居て大母の懐に入ホケ

且其系

まう為をト遊ヒテ附タリ但籠ハ穢チ、名おし穢チの馬をハ
血白坂中具テ三ノ大母ト出ルコ

何ヤト人我玉、

穢人

ニウカラミニ穢原名入ノ人今タテ知リ名度シ

旅衣天意をうけ、

母笠

あや、不器アル作テハ木浅石、山伏原礼入ト可見

三秋、

夢水

旅人入込ハお日回向、別集ト付タリ但天意ト云ニ、穢倒ス

トハヒ、中ニ但ニ、事、後別シ

至人小甚摩、

穢人

美り、人ニ穢コニテ穢る、夕作ニ他穢倒ト云、穢多ニ遊

コトウ作五ハ穢、白ト

月あき、

母笠

雨具ニ穢ニ名コニテ、梅骨ニテ古儀ノコニ在タリ組、お日ノ日

ノ子ニ月、ま、并穢ハニ行書ノ穢、有トソサシト云、今ハ用ヌ、ニウカ

ラミ、出ル、穢、四ツ月、穢トハ云リ

ころい、

夢水

ま、ま、穢ト云、コロヒタルト云、穢ト云、ニウカラミシ

風い、

且其系

あや、穢多、今穢、作テハ風、い、せ、ト云、ニウ、一、年、ト云、別

長宗一ノハツ流は宗ノ後河勢ノ事

殺人

温泉ニ入ルハ流宗ノ後河勢ノ事ト云フニ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

旧傳ノ撰系代ノノノノ

高公

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

羽笠

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

野水

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

大卒ハ名ハ流宗ノ後河勢ノ事

且其宗

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

殺人

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

高公

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

羽笠

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ
宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事ト云フハ

宗一ノハツ流宗ノ後河勢ノ事

ニナカラハ用月ニ故ニ火付ナリト云ニ又月ト云ニ但ニ二十五
ノ月ノ際トキ云ニ二十九ノ日出成月ラ上死ル作者御成カス
君ノ御め不弟云々云々
但ニモ云々水濁カト白ニタリ

○三月十日ナリ且云云々田家不伯りて
怪ノト云テいししし 君云々云々

夕暮ハ怪ノカニ何ニ云テ不弟云々云々ト云テハヤスト
シラシ目云々云々云々西白ト且云云々對ニ云々換投云々
キト云々云々有一ニ云テハヤスト云々云々云々云々四ニ
ナカフト云々

頼小云々云々云々云々云々云々云々

唯カカ換投云々且云々カ舞ニ名稱シ怪ニ云々換投云々
家ト云々云々云々

蕨云々云々云々云々云々云々云々 越人
云々云々云々云々云々云々云々 云々丹云物同
諸云々云々云々附云々換投云々付云々カラ云々附云々云々

云々云々人云々云々云々云々云々 君云々
云々云々云々云々云々云々云々 冬云々
云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々但云々ハ信ホト所先云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々ノ後云々云々云々云々云々云々 執事

ミタリ歌ノ字ニキヌクヒニキ

風のをと秋の日舟小酒入よ

冬文

あひ静成何ッ風ノキト流リてんスカラフナクサメし但秋ノ字ハ
甚合ニ并健タムノ白ニテモ歴ラモ人権根一匹ヨシ

夕陽の候の踊り笑しし小

冬文

ニトモテ候ある丹ハカ候クニカリ丹ニこそ何ハ志良ニ日
あつ候ト云流ルヨ丹集リ居ハサク候ル踊モ有シ

阿ふまの程多原の眺摩とんそるぬ 聖水

笑トモヨリシカキ物ラ之合テ居所對所トモナリ 程多原ハ
大喚ハ心既摩也 位ト巨一ウハ流ルカクヲ見タカ
イニタ見ルト云んニテ笑ヒニシト心ハ

つゝ一初 知事のかんせあ

冬文

諸事ノ夏ラズカハ人トモナリ 諸事ニスル歎歎自ツ附ナリ
知事ト云字あウ一初キニ

我まのそあり及ふそを記て

冬文

あウラ慶者ハゆチ我ノ字孤獨ノ上見テ知事ト云ニ春水
ノヒニキヨシ

歸取字いつて流るるそ代

冬文

あウノオタマカハ根者ヨリ太平代ヲ附ナリ 流ヒツト云ツノ
テニ飽近ニ流フ意有テあウハカクアリタシ

山ノそし交好ハ心移る日小

冬文

春代ニ花ト白テ條ハ上巳節ノ條ナリ
あウハ心移る日小 春代ノ條ナリ

あふそ水思ふれ 雲存何事し

冬文

山ノ花ト云詞 遙ニ見上タル作アハ花事云フテ所ヲトノノ云花

、高橋ヲト古泉ノ作ヲおろハツ、キタリ

春の日記は巻秘記終

此所ヲ註シテ其ノ字ヨリ言フニ目利ト云ニカクノ所
ヲ目利ノ事ナリ

志何ハツソク其ノ思ハルニ

其情ト云ト云ニ案トハ其ノ但ニカカラニナリ

世表ナリ任ナク其ノ事ノ上

其カクテ其ノ國大トスナリ日英ト人ノ坐ノ座ノ西京アリ

此トモ海ナリト云ニ其ノ事ノ上

其出ス徑ヲ任ニ其ノ事ノ上

立降ノ事成ルニ其ノ事ノ上

ニカクテ其ノ事ノ上

千ハいと云フハ其ノ事ノ上

其カクテ其ノ事ノ上

卯ノ刻ヨリ酉ノ刻近ナリ

噴霧一ニ其ノ事ノ上

此ト有ニ其ノ事ノ上

白ヒアリ

何ニ其ノ事ノ上

此ト有ニ其ノ事ノ上

其ノ事ノ上

此ト有ニ其ノ事ノ上

此ト有ニ其ノ事ノ上

其ノ事ノ上

此ト有ニ其ノ事ノ上

此ト有ニ其ノ事ノ上

泥ノ字ニ泥坊ノ字作妙シ

つゝと西と東と清のり

水

此の字に泥ルヤト云ふ白じ

き〜嶽と〜利根の川舟

兮

四方、風情は又二方一章

そののてら〜と〜してかき

人

テカト云詞水日、移リタル白じ此ルヤト云、日ト

共哉有シト二方一章、付タシハ端ナシ

玄猪ノリと〜おれ 赤と

水

カキタト云、風景ナリ、根子アシハ、亥ノ子、荒ト書タル

但二方一章、後口附ナリ

ゆ〜と〜のふの布の情い

兮

相乃云テリヤラ〜ト〜カセ名 後口付

狐つとや人のろ〜

人

フ〜ノ情ヨリ狐付トシテ二方一章

柏木の掃えのひ〜

水

雲上、情ニタリ、狐付トヤ人、見ルテ有フト云タル詞ヨリ

怖え、痛、上と見え、又〜ナリ、名詞有ヨリ、イ〜ト白

柏木ハ、掃えおれ、柏木〜、執翰、上〜

呻〜のろ〜

兮

柏木ハ、女ニ、宮ニ、密通、人ニ、おタニト、云、田タル附タ、ルト

田名上、子、後一段、是又二方一章、二〜

月〜会あり せれ撲

呻〜、用ヲ附タ、田タルニテリト詞ヲ合セタルハドレニ

父ノ業シ

秋のちるる 星の垣 禰

水

此の句は、秋のちるる、星の垣、禰、と、人、情、後、冬、之、秋、字、白、ハ、リ

そらけりし ちり ちり ちり ちり ちり

兮

招、禰、希、ハ、タル、ウ、チ、コ、ニ、タリ

破 一と 月 不 破 の 糸 作

人

代、ウ、向、セ、タリ、禰、禰、内、ニ、有、ル、人、有、ハ、シ、タリ、作、ハ、は、た、り、ガ、

かーら 禰 不 破 の 糸 作

水

子、コ、又、は、た、り、ト、モ、ア、リ

お、ウ、様、ト、シ、テ、信、源、中、立、有、見、ト、モ、件、立、禰、禰、ウ、ウ、感、シ

か 心 着 の た ら ぬ 心 の ち り ち り

兮

名、懸、コ、但、代、ノ、ウ、シ

陽 光 の 一 人 せ よ と 人 の 立 ち け り

人

此、方、ヨリ、お、ウ、ノ、手、後、ニ、カ、テ、テ、後、附、ニ、ウ、一、章、ト

あ せ き と め ぐ 代 の う ち

水

此、カ、カ、ラ、ミ、テ、ニ、ウ、一、章、ト

そ の 後 半 一 部 七 十 三 年 一 章 一 節

兮

白、水、ウ、ナ、ト、カ、ヘ、リ、ト、又、ニ、テ、禰、ウ、禰、ハ、又、禰、ニ、附、タリ

後 々 美 々 々 々 知 性 有 々

人

定、ヨ、ラ、ヌ、ト、シ、キ、チ、ニ、ウ、一、章、ト、シ、タリ

思 出 際 一 月 有 々 有 々 有 々

水

神、水、懸、テ、所、テ、ニ、ウ、一、章、ト、シ、タリ、附、タリ

昔 彼 昔 田 刻 以 て 千 不 可 説 也

兮

及のきしハ之をきしと云 神原の麻

兮

古綿ヨリ物貫ヒ、神原カ決のラ出シメリ是白ハ

樂まきまひとつふと一糸

碧

其人ノ言ヒテニ夕一暮ハ

いふもをかてめつと小そ我流

重

死ヲ知ラテ飲込合具ル人トシテ附タリ

得殿まきの木綿しつあり

泉

合具ノ罪消 憾悔、得殿まきりし

流しとて是久とて来る川 の流

水

情持、心ハ水ル川、得下シテ流付ニ夕一暮ハ

たふくすふしやキる月

兮

涼ミ下云津極百トシテ恋、仇るヲ付タリ夕一暮ハ
夕一暮ハ

秋風小女車ははは 田中

洞

お、まきラカラミテ夕一暮ハ一夕ハ秋風、そ文字ニ 淋

カフセハ所ハ名ニ、外思も、はは田中ト名ニカレん、カラミタリ

神をよけけし流涙の法持

重

女車ヲ信ニテ、世中ヲ忍ハ人トシテ大忍、忍ヒ多トシタリ

やねキキニサゲク思アリ

時とハあさへはあめさじのあ久

碧

物サノ言ヌトハ物名ヲ時トシ、言ハルヲ云ニカシテ物サノ言ヌトニナシ

メルニ時ハスミテ可積

八重の心吹ハをくちあさへじ

水

物サノ言ヌト、八重ノ心吹ハをくちあさへじトハ

八重咲、冷め、隠見、怯、テハ、モ、モ、心、吹、モ、サ、ス、ト、又、ル、ヘ、シ

日の出、や、ほ、ふ、ハ、何、せん 暖、小 泉

山、吹、外、ハ、橋、リ、之、長、日、舞、ラ、ト、ノ、一、テ、若、キ、人、花、ヒ、業、ノ、工、又、可、ク、心

ふ、あ、け、小、古、黄、ふ、あ、い 洞

生、陽、在、ト、シ、テ、示、破、ナ、ト、ノ、自、業、七、シ、タ、リ、但、ム、安、ケ、ノ、後、ハ

古、宗、ノ、事、ハ、ヒ、ニ、キ、シ

向、少、道、つ、さ、や、る、花、の、小、舟、あ、て 兮

モ、陽、ハ、更、ニ、ム、安、ケ、ト、云、ニ、突、ヤ、ル、ホ、ト、ハ、ヒ、ニ、キ、シ

垢、難、り、く、人、の、さ、る、あ、の、ま、ゆ 惹

後、附、し

碓、玉、よ、そ、テ、多、大、の、加、減、差、之、つ 意

水、ヲ、ホ、ル、ル、人、ニ、テ、慌、入、ト、ナ、シ、附、タ、リ、但、ニ、カ、ウ、ミ、ニ、テ、亦、假、シ、禱、セ、タ、ル

眼、う、と、ま、の、細、く 泉

モ、人、ニ、ニ、カ、一、ヲ、キ、シ

む、く、花、小、あ、ま、け、て、又、時、々 水

向、附、ニ、テ、自、ノ、向、付、ナ、リ、喫、ム、モ、先、人、ニ、入、リ

つ、成、さ、る、り、あ、ま、の、世、也 兮

モ、用、ラ、付、テ、以、右、ノ、カ、ウ、ニ、カ、ウ、一、ヲ、キ、シ

入、想、テ、是、惟、河、の、菰、採、し 洞

モ、世、ニ、道、也、採、シ、ト、ハ、ヒ、ニ、キ、シ

さ、ら、ふ、今、も、つ、り、と、水、と、さ、ら、ふ、楓 意

入、地、ヲ、テ、字、宗、那、ノ、名、ニ、テ、結、ミ、テ、名、ニ、合、名、ト、ヒ、ロ、セ、タ、リ

石、空、庭、ニ、あ、る、印、の、下、を、ノ、9、月 及、意

名、ニ、合、時、表、ニ、下、を、今、年、ハ、白、ハ、セ、タ、リ

此等生執對附但一說豊か玉物々俸類名物
津河ニそ列ふるカキリト云ト福分ハ為ノ博カキリ
ト云流アレカ如信ニテ可也

夕久のほめとりにて

冬文

あやの静ナル作者ヨリ夕久ハアミニイテ際知ハ今作
静カナルめと此カニ叙テ云シカハ入モ候帰トノ名上
カニカニ附テハ形有冬レハ子文字田上ニ叙字ナリ
ナリニキト云物ニテ之ヲ取テ有フト云ルニ名詞

けふとこやうかふゆる月夜

春分

スリ附月ニテ秋ニ接ス附シ夕久ニケフキトニ見格シ
種々ののそそちを統吸そそ

遠見格シタル作ヨリ系降ニヤウキキトニニキトハ俗トナ

草

ツモナキト云詞ニ但ケフキトと詞ニトモト云格シ

弓川ふるる 傍角カとて

象

系降ニ對テテ角カニテリタル詞ニ傍角カニトカセ
但トモト云格シトニキテリタルトハニリ

いふと又西指りんと云出る

兮

角カノ作ヨリ種フセリノ名ハクニ付テ是ニ詞漢ト云

もまゝく砂の岸の本のそ

文

附角カノ名カニニケフキトニケフキト

火の嵐の波の夜にみすま

象

夕久ノ著成ルルニシニ夕久ヨリサモ物作ノカクヤ眼カ火ノ嵐ノ波
夜ニミテアタヘサウニ種ト世ニ見格シニ云ル有テ西流附

候とせしとち笑ひつ

草

二の一二三ニテ 緑夜娘、西義と

言ふ事、清をわくして其く其あかし

時し名に我候者、二階ナトヨリ云々作し

海。や、小、借、其く、あ、り

附、急、白、急、下、し

歳、年、七、折、礼、之、せ、月、日、候、之、

立、ブル、マ、キ、

と、事、も、双、城、の、降、込、を、あ、え、る

口、候、キ、ト、云、フ、を、あ、り、人、ト、附、タ、リ

何、も、し、キ、ら、あ、め、り、し、る、事、の、お、り

あ、り、ま、り、ま、り、キ、ト、ニ、テ、あ、り、ま、り、附、タ、リ

月、の、照、り、を、あ、り、ま、り、の、お、り

物、静、か、ん、花、の、お、り、ま、り、の、お、り、附、タ、リ、ニ、ク、一、マ、リ

枝、小、の、お、り、ま、り、の、お、り

是、又、あ、り、ま、り、ニ、ク、一、マ、リ

殊、行、り、り、け、り、眼、是、の、上

是、又、後、口、附、ニ、テ、ニ、ク、一、マ、リ、の、お、り

降、入、り、入、業、小、の、お、り、ま、り、の、お、り

先、人、の、お、り、ま、り、降、入、り、附、タ、リ、殊、行、り、り、け、り、の、お、り、ま、り、の、お、り

降、入、り、ま、り、は、降、入、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り

は、ま、り、の、お、り

十、日、の、お、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り

入、業、の、お、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り

候、キ、ノ、お、り、ま、り、の、お、り、ま、り、の、お、り

文

兮

苜

泉

兮

文

泉

苜

文

兮

二里の神降りしと生羅

芳

二里、福山といふ山に、降し神、此、神、空を介し生羅、今作

長柄雲より降る所を

泉

生羅の山尾、地れ、れ、あ、あ

たゞしくと流れてはる月

兮

後口附、二句一作し

る。由山をるのりか

文

カブクの神ヨリ、降れ、降し、走付し、但此方、二句一作、

麻一さハ産井の若れろ

泉

故、あ、あ、か、ハ、入、二、方、ノ、白、こ、産、井、ハ、久、保、玉、中、仙、人、

地、不、ハ、可、宜、し

高入ふやしてあるま

草

る、中、ハ、内、せ、う、カ、ウ、井、キ、流、め、し

つくと降るるる力

文

昔、多、心、安、ん、根、ん、古、々、懐、友、川、舟、カ、願、志、付、り

嘆ふく提婆あふ

兮

あ、あ、自、ラ、代、降、し、テ、ウ、ト、ミ、ク、思、フ、人、附、リ、提、婆、あ、降、る、ト

云、ア、タ、リ、タル、神、し

聖雲のしと雲水

草

仙、降、ル、云、ナ、カ、ウ、云、者、願、志、し

味、降るる不降

泉

味、降、リ、ナ、リ、花、雨、降、リ、降、ア、ル、代、降、る、ト、降、し、タ、リ、但、

後口附、心、し

云く降れつと降るけ不降

兮

味崎抄ニ芝草、後シテハカニニ婦人ハらキ

次ノくハ、暖カキ

文

キゲンヲトノクタル

夏ノ氣赤ク人々を以て巧く見

泉

後日附カウニテニカニテマシキヲ我ハシテ入赤ク

ハクハるズ、

氣ハスニカニテニカニテマシキ

草

如月ヤ曝クニテニカニテマシキ

如月ヤ曝クニテニカニテマシキ

文

是又ニカニテニカニテマシキ、祠ニテ山口、

是又ニカニテニカニテマシキ、祠ニテ山口、

分

白ト云ハ長宗ノハナリ

因意ニシテハカニテマシキ

分

因意ニシテハカニテマシキ

分

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

分

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

分

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

因意ニシテハカニテマシキ、祠ニテ山口、

おの可成伯祖、三位學丸、許へる里に西をぬこ

つゝさうあつて人のつゝかひ

分

君を、ヤ有、系布、友、ヤ有、口、口、二年、フ、意、附、二、分

一、三、下、ス

力、代、旅、の、あ、さ、さ、お、出、る、あ、り

全

口、口、許、到、ラ、ス、ル、年、内、に、在、ラ、又、旅、好、人、ト、附、タ、リ

一、着、握、ひ、い、ち、あ、の、ま、く、り

水

主人、房、お、に、に、カ、コ、ツ、ケ、高、ヒ、ト、ア、見、但、二、分、一、三、分、し

初、氣、ま、る、附、の、寮、の、坊、に、大

全

お、今、余、り、見、名、附、に、代、に、初、氣、ト、之、テ、教、は、る、作、有、テ、キ、ン、ラ、ケ、ノ

秋、定、又、諸、小、ヨ、リ、集、候、迄、其、ク、候、之、事、セ、タ、リ

茶、茶、和、湯、あ、と、あ、り、く、け、り

分

初、氣、の、以、ま、る、あ、り、小、サ、京、團、形、也、坊、に、大、お、お、ム、之、麻、見、ハ、端

才、洞、ラ、に、カ、セ、タ、リ

去、飛、也、タ、ケ、く、小、ウ、を、上、せ、タ

全

後、附、に、二、分、一、三、分、し

平、判、お、ら、れ、社、其、物、く、も

水

お、ウ、シ、カ、ス、モ、人、ノ、平、判、ト、名、モ、又、其、中、持、積、し

通、法、の、つ、い、ま、り、な、り、て、あ、り

全

お、ウ、シ、カ、ス、モ、人、ノ、平、判、ト、名、モ、又、其、中、持、積、し、後、有、テ、見

六、位、お、あ、り、い、ち、あ、の、う、り、さ、せ

分

ツ、イ、ハ、リ、ト、之、禮、物、唯、今、子、之、ま、上、分、に、情、に、タ、リ

代、表、唯、や、ま、く、と、清、お、ひ、て

全

六、位、お、あ、り、惟、キ、ハ、文、ノ、ウ、キ、ト、之、禮、物、毎、日、之、に、カ、セ、テ、リ

二白一三三

山の傍にまきと柳とあり 水あり

月夜にやりにて侍りて柳とあり其斜に月あり見

きつてし標をよみしとあり

出たヨリダウトに~~て~~但ちツキトハ活キト云ふし

采女をりて侍りて中川に侍り

ダウトに侍りて侍りて侍りて侍り

お被りて侍りて侍りて侍り

お白ヨリ次へて侍りて侍りて侍り

こらうし侍りて侍りて侍り

白や、お被りて侍りて侍りて侍り

えんもそのよきと侍りて侍り

お白、人物ハ侍りて侍りて侍り

六

君ふともしえふぬ歌を二三年

知事ホミガル侍りて侍りて侍り

内侍ハ知テ侍りて侍りて侍り

庭に侍りて侍りて侍り

君ヲ侍リテ侍リテ侍リテ侍リ

之方の教むつととせよとあり

侍者侍りて侍りて侍りて侍り

侍奉仕りて侍りて侍りて侍り

しんま、侍りて侍りて侍りて侍り

侍りて侍りて侍りて侍り

水

分

分

全

全

水

分

分

水

全

全

全

分

分

全

全

水

全

全

全

本集に集り名人の歌にナカラウ等集り古歌馬王、全八五七
集り名人の歌にナカラウ等集り古歌馬王、全八五七
白せたり古人の歌に

うらひをて浦の宮尾の夜下るるよ 全

はなれおの心有ヨリすまきを成り後而て平の夜に名ト是テ
ハテノウハ世ナリサレトハ名ハ、夜ト上ル、詞トハ夜下るヨ
ト下知ト名ト一利アリ

由つ途入て夜鳴るるよ 下

おの都人、作有ヨリ是列シ又今ナク、乳ルコ

碎さめれあゝの夜とまき以ありしや 全

口トまき名同ナ附ナリ但代、ウケ

只静あゝの夜の夜も 人

碎破ノミ、名、夜トマ静ヲ夜ニナリ

歌合招古謡者あゝの 全

おの、静ナルヲ殿上、夜ニ名を化之招古、歌謡伝原、
音、寂道伝原、ニ名を名、年、夜ニ殿上、名、世、道、
名、歌、之、の、名、あゝ、の、夜、

お合歌ミナカラウ等、名、夜、ト、名、カセタリ

於亮のゆらゆらと柀湯 全

其常ナカラウ等、名、夜、ト、名、カセタリ

白おらうせとてさうり 人

曲、お同伝ハ、名、カセタリ

吹舟ふるゑのうらまのあゝと 全

名、吹、舟、ふる、ゑ、の、う、ら、ま、の、あ、ゝ、と、

まはこりる 木心 下

上ヨヨノ荒名作有テ吹風ゴ双ノ後ハヒキナリ

むつくと月々々紙の紙を似て 全

築山ゴス日偏之詞ヲ付タリ其家ニ入ナルヘニ但杖ト云

字ノ掛名ニムツト麻友ヲヒカセメリ

人の清ハハまきりしおし 人

ウ 紙ノ似トク後ヲ西並偏出ノ人トシテ附テタリ

ふきりく血で首取居る世 下

農業一向人トシテ大百姓ト時タリ

テせりおのころふ所伸 人

血草ノ在作ナル所ヲ指シテタリト云コトヲカハリニココロヒタ

ルニナシタリ

あうくく小諸。石の石時系 下

町地トヨ^テ所、使キ移キ有ハ小諸、小字ニカセタリ

皆同者小中急仙 人

小諸。石ハ昔老寺城ノ故口有、急仙ノ附タリ

ろあし相いむく系 下

急仙ノ道ニ系リ百歩ノ道ニテツウの名付、相イムクハ

ろあしツウイハシる所ヲ保陀仙トアリ百歩ノ道ニテ

我古跡アリ

田系こ水て極 人

あうそ、移キ、道ヲ系トテ極、名ニ有サル故極ヲ附タリ

但系ノ極、附ル温トスヘシ附島ノ系、海邊ノ果、今云、新ニ

下リタルニ其極ニ云リ但田系ノ極向ニシタハ、極ノ北ニ

ニシテ合キ者大リ深トシテ隠者、位不ニ遊ストノテ一リ

ちウノ用ニ次シテ物トシテイサ我ニ去テ去ト云ハシ

園の多きをこせめく目一り水

人

名利をヨリ遠者、心は世を知らズ、但遠ニ去ト下ニ、術

カルン合ハウルセ、トナケクハシ

いそろしと仰古しのく尺ホ之あし

人

去ラカサル遠者、道後ロウイワカシト云ハシ

ひろし世信やく寺の海を

人

ちウラスイキヤウ者、此テ家ニ已得欠ルヲ云ハシ

比里小古く之玄葉田のらん成つてく

人

寺せ織^織定^定玉^玉一^一り得^得成^成ヨリ古^古キ^キム^ムト^ト云^云ハシ^{ハシ}テ^テ玄^玄葉^葉田^田ト^ト有^有ン

フナ^{フナ}名^名ヨク^{ヨク}作^作ル^ルヤ^ヤ 標^標是^是ト^トハ^ハシ^シタ^タリ

只^只強^強より^{より}せぬ、^の明^明保^保の

人

ニウ一^一等^等之^之は^は附^附理^理正^正ト^ト論^論テ^テ悔^悔玉^玉一^一ウ^ウト^トコ

子^子ぬ^ぬい^いん^んち^ちう^うか^かわ^わそ^そく^くう^うそ^そや^やう^う不

人

下^下路^路ハ^ハカ^カセ^セヌ^ヌト^トシ^シイ^イヌ^ヌハ^ハリ^リテ^テ後^後ヤ^ヤシ^シニ^ニ家^家ニ^ニヨ^ヨク^クカ^カサ^サニ^ニキ^キ 容^容作^作ラ

五^五一^一リ^リ但^但嘆^嘆ス^スキ^キヌ^ヌク^クト^トハ^ハ移^移リ^リト

風^風リ^リな^なふ^ふら^らの^のま^まス

人

附^附意^意ハ^ハ意^意成^成カ^カシ^シキ^キヌ^ヌク^クニ^ニ因^因リ^リト^トハ^ハ白^白ヒ^ヒト^トア^アテ^テヤ^ヤカ^カニ^ニ義^義ト^トハ

風^風ニ^ニウ^ウ一^一等^等ト^トシ

白^白つ^つら^らま^まの^の水^水際^際ト^トま^まう^う来^来ぬ

人

亦^亦ウ^ウラ^ラニ^ニウ^ウ一^一等^等ト^ト見^見テ^テ故^故ハ^ハ附^附アリ^リ但^但自^自ノ^ノウ^ウシ

お^お残^残く^くま^まし^し井^井池^池あり^りリ

人

附^附意^意ハ^ハ意^意成^成カ^カシ^シ但^但ニ^ニウ^ウ一^一等^等ト^ト在^在テ^テ、^祐入^入ヘ^ヘシ

月と糸比らぬのそと衣成わわして るぬ

祈申より見たる作に但月の石心急なる愛を記すに云心合源水
るる子、方ヲ並へ玉一り

雲衣作 粧るひの肌ぬき 人

古のころ、調に名作有ヨリ長宗、能ヲ附ク

破れそしあけ打掛つける玉火の末 全

肌又キミま、赤トハ白ニシ肌又キ、讀ニ赤トハ細工、赤甘ルハ心寄す

見世ハ、林トシ、まゐるの、換、

破レ、神ニ、川ワリハ白ニテ、底ト云ハ、字ニ、表口、ト、ト、

家なくて帛紗小包む十寸凌 人

三七トハ、後ヨリ、赤ト云急ニ、底ト、お、紅ハ、カ、ル、心ヲ、附ク

このワシは、神子のおえ るぬ

十寸後ヲ、神後、名寄ニ、服紗、讀ニ、神子、白赤、今、作
物、形ハ、カ、ル、物、思、心、ト、云、玉、一、り

人きていよ、いよ、いよ、の白ひら 人

巫女、名ニ、初メ、名、赤、人、之、云、玉、ヲ、讀、サ、ル、ハ、シ、ヲ、三、ト、云、ハ、ヤ、コト
ナキ、方、心、ハ、赤、赤、ハ、ク、云

初服小赤もる赤の片一 るぬ

シ、三、ト、云、云、上、讀、ヨリ、掛、成、玉、盤、受、一、面、鏡、ヲ、附、ク、一、り

子規の何、く、く、く、を、中、小 人

赤、赤、ハ、艾、名、蜀、魂、ト、名、ナ、片、偶、讀、ヨリ、讀、カ、ル、ハ、心、寄、す

花梅のさし、け、あ、い、く、白、れ、て るぬ

け、さ、し、さ、し、大、角、豆、讀、ハ、今、新、ニ、テ、赤、カ、ル、シ、梅、ス、但

足る多ハ子成ナト川連タル旅トシテ一、後ヲミテ其ノ所ナカ

石ニ云々タル意ナリ

雛カケシテ伊勢此ハ約 角

宜一後ヨリ子成、後ニ送命ニテイセト云流ハその物、後シ

情力ハ子成、極浅、極めたる也 全

イセト云ニ不取極ハ而端ナカラハ約、終、極、極、不取極、今新ニ
ハ約ト云ニ情力ノ神ハ極ハヤ、願ノテ六ノ意ニセリ

名在片断ハ村ノ新 人

誦ハヤ、礼ニヨリ田ヤ、心、夢、ヲ付、不取極ハ白子寺家村

親善寺、有テ法師、長命ハ之ナリ

夕子ニシテ又、一、め、も、神氣、有、云 全

一、新、ナ、ル、ハ、此、ハ、付、テ、ニ、カ、一、意、ト、シ、テ、他、法、師、ニ、神、氣、有、云、後、シ

ろ、さ、く、い、と、も、実、ハ、何、村、の、意、 角

御前、有、云、ヨリ、世、ヲ、根、ニ、云、昔、昔、人、成、テ、三、能、ハ、附、ナリ

通、橋、小、合、以、乞、の、法、師、也、垣、橋、也 全

弓、様、ニ、名、ハ、大、平、セ、ト、シ、テ、と、合、ハ、神、意、ヲ、祈、極、ハ、附、ナ

垣、橋、テ、ト、云、境、ヲ、さ、ヒ、キ、ト、ハ、タ、リ、と、合、良、性、ハ、其、ノ、角、ハ、他、カ

ヲ、可、見

お、ま、く、ら、ら、ぬ、る、士、の、意、也、 人

ま、抑、ノ、極、也

そ、の、ま、ろ、不、却、ヲ、忍、給、之、と、云、 全

旧、意、神、ア、シ、ト、ホ、ヒ、ノ、名、ナ、ル、花、者、ニ、ト、其、角、ヲ、賞、ス、心、ア、サ、ウ、キ

ノ、下、ナ、ル、ヲ、已、シ、テ、ミ、ト、リ、シ、ハ、一、卷、ノ、首、尾、シ

心、ま、ろ、不、却、ノ、心、後、の、意、也、 全

瘧疾の速通を絶業の白こ

全

掛下人お格おたるヨリ程歎息一々こ

唱おハるハ多御一々

全

他ニ他ヲ附テニカ一季トタリ但速通後ハ多細毛ニ全カ

涙ををわねくは情を云ふ

全

おウツサトニタリ故ニ静女而敬ヲ附テ義性ト驚しくニ云フコト

情重詞ハ痛恨ノヒト也

後床唯くこりふうたうあを

人

おウツ死おト極苦ニ出ルニテラハヤト云意ヲ附テ

りやうとゆわけしるま

全

おウツ老心有ニ過苦過福供与に程進物ヲ製スレ作

ツケタリ

りやうとゆわけしるま

全

おウツ同友伴有ヨリ哀ニお助入ヲ出シテモ程ヲ見セタリ

まわぬけおしるま

全

原人若古ニテ年ニ附テ死チトハ後程ニテ為ヨト

明日ハ世をさるる方。月夜

人

おウツ記嘉分トニニカ一季ト

白糸の如くは居る女実

全

ニカ一季ニ月夜後ニ白子紙ハ模ナカラハカサキ紙ニ白子紙ヲ

用ノ意ヲ合セタリ

つとむ此送者のごしるめや

全

ニカ一季し葉ヲ附テ物ニ伴し

ちるまお口のまをいもて長也

人

ツレト云ふは元来ハヒキ合ハクモシヤト云フ知ル、後ハ安ク、葉タリ

ゆふるとハ何成りふらん

全

長世ト云フゆふるとハ、葉ハヒキ合ハクモシヤト云フ知ル、後ハ安ク、葉タリ

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

日の短きと冬の短き 高格

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水
ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

ゆふるとハ何成りふらん 桐の本小 野水

川 瓶一のあふさく水に 秋のこ

水

コトハトモミ、あふさしり人、詞トテニカニモトモタリ

秋ふとりのわさる秋のまきとあま

格

あふさしり秋のまきとあま、秋のまきとあま、秋のまきとあま

ワのせこ、あふさく、あふさく、あふさく

水

痛れたる、あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

すくも、あふさく、あふさく、あふさく

格

は方へ、かう、かう、二カニモトモ

あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

水

まきとあま、まきとあま、まきとあま、まきとあま

飲ハシ、あふさく、あふさく、あふさく

あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

格

夜、あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

水

コトクリ、あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

格

絶、あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

水

附、あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

格

卯、あふさく、あふさく、あふさく、あふさく

かゝる府中城館様ありし
水

田舎女を以て作し一字にマセタリ但カラミケニクニクニマシ

心止まて書の上をまゝにし西白や
格

おウノキケニシ故に一タリ但外クナリ

折るうと例の
水

雨止テ風アルトミテ折テル故ニツサキ鞠儀トミナリ云々ハ

鞠場より遊ばし
全

新長く月之世さつれに年
全

餘カリスリニ麻ト附タリ遊バテ折ニクナリハヒキも

遊ニニクニマシ
格

月コソワシト遊バテ折ニクナリハヒキも

夫由トミナリ

白紙の上におめを
水

おウノ代ニ弁向セタルハ後ヲ附タリ

水糸としてまゝにし
全

白ラ上ノスルト云々後ヨリ少カクアテサセ名ニテ其故事

来歴ヲ流ルウニ考タリ

新毎の干多大備る
格

古ノ世トヨリ神代ノラカクテ神職ヲ附タリ

行ぶるも
全

新あトヨリ毎口一社ありて是レヨリ是レニルハ附タリ

まゝのく
水

ミナモトヨリクウカリヲ遊バテ此ルキも出タリ

○

祿をこころへと書き行時し

格

まゝの^三流^ヲ越^スス^モニ^テ福^ハ天^ノ元^ニテ^ハ長^キ宗^ナル^トモ^キケ^テニ^テ
世^ハ心^{タル}カ^シ

一里の^三尺^ヲ考^スハ^ソリ^クなる^カ也

一井

陽者、彼^ノ意^ヲと^シ中^ヲを^取回^シ目^ヲと^モ意^ヲと^シ小^ノ降^ノ里^ノ西^ノ東^ノ一^ノ成^ノ
小^ノ野^ノ之^ノ灰^トモ^ハ是^レ一^ノ里^ノ岸^ノ實^ハイ^ツ初^ニ出^ルヤ^ラ川^ノ流^ニテ^ハ
尾^ハ知^マズ^トモ^モ意^ヲと^シ耕^サス^ニテ^ハ尾^ハ置^ル也^キヲ^ハ私^ニタル^カシ

笑の^三人^ノの^三編^ヲ考^スル^カ也

氣^三彈^ノ

考^スル^ニテ^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ
考^スル^ニテ^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ
考^スル^ニテ^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ

ヤ^キム^クと^モ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ

胡^三及^ノ

お^リて^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ
お^リて^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ
お^リて^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ

之^ノ肩^ノ衣^ヲも^ハん^ト進^ムは^ル小^ノ碎^カふ^人

長^三垣^ノ

堂^ノ以^テ善^ク語^ルト^モ一^ノ向^ノ宗^ノハ^ハお^リて^ハ一^ノ里^ノ作^ラズ^リハ^ソト^モ意^ヲと^シ案^ノ元^ノ程^ヲ以^テセ^テ編^ノ考^スル^ニテ^ハ
夕^ノ月^ノの^ノ入^ルは^ハあ^まき^ハ塘^ノき^ハ

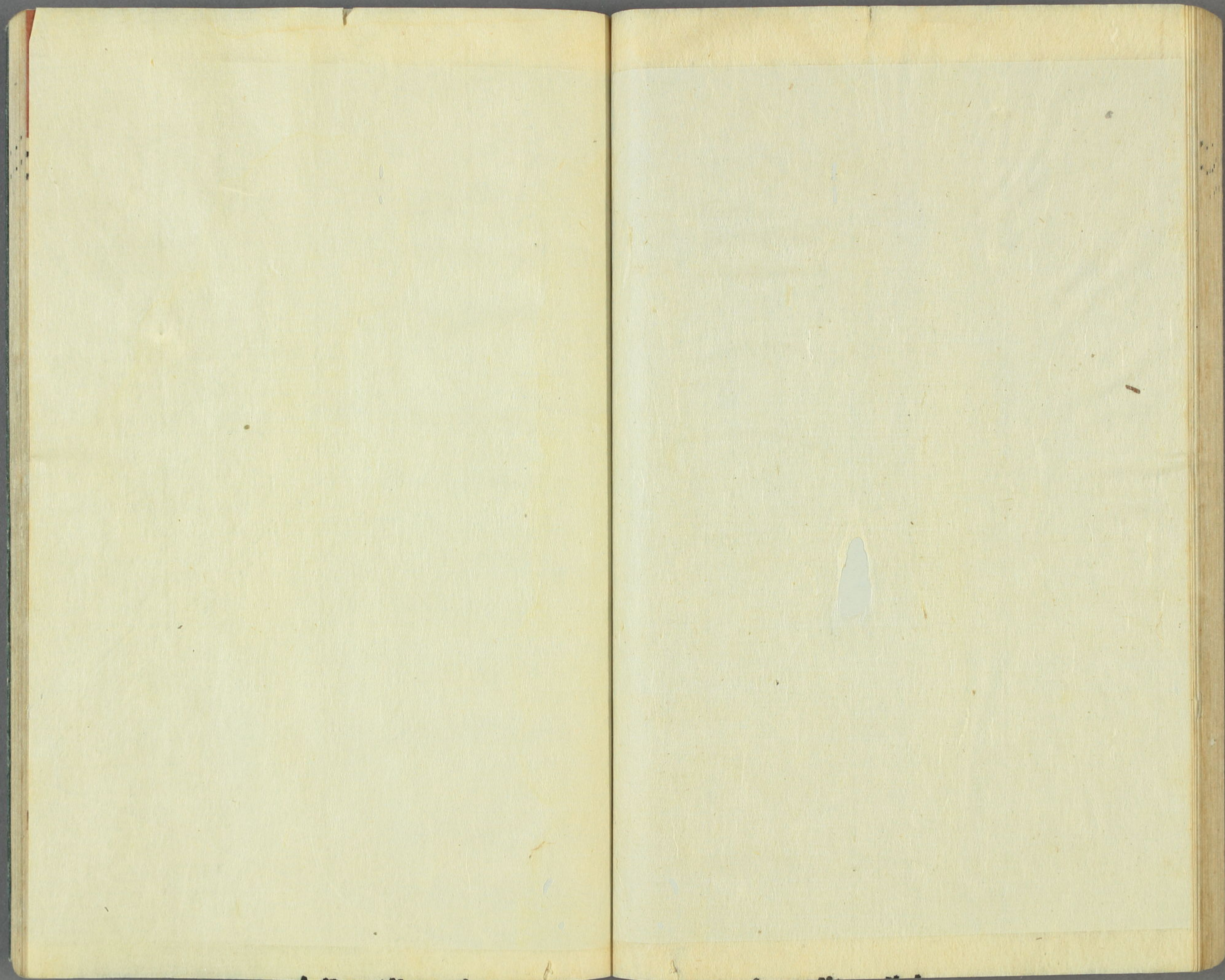
俵^ノ不^レ知^ル哉^ハつ^つみ^ハ込^メ井^ノ

井^三

早^ク涼^ク通^ス教^ハ二^三日^也

官^ノ司^ノ々^々其^ノ不^レ惚^レつ^レて^ハ及^ス

及^三



秘注优游七部集卷之四

むさぶの巻

本のとよ不けと終とさく

終

西日長采ふくまふるや

陳頌

花鳥よりけと終と物不足十キ作十八是歩合具物た

冬、新日、拾、る、に、た、る、に、折、原、附、言、し

曲水

旅人の風うきりまを

後附ナリ舊の付トス

ちをうわりのぬるかの

終

イヤニキ作ヲ終ニタリ

月待々候の内裏の司取

頌

ハキセウケハ又と綱ヨリ旅内裏、西、終、ナラシ

何れ元ふる天 志心あきらみ人

其人、他より一夕、ヲカミミシ

双六の目を歌くともさるりり

水

あふ、さるりり双六、今ふトミタリ目ヲ歌ク詞六志トク

ト実人全ナル風情ヲミ、あふ、冷めシ後ス

飯の持仙もむくふ 急 仙

水

炊トモス月夕着徑ト附タリ但双六、膳ニケ尼背サレハ

飯、まじり句サタリ

中ふ、ちるるも居水も刃虫トあり

水

善信申、飯小を、持仙トミ、ちるるハミタリ

我々ハアとのあふりし

水

あふ、飯トミタル人ナリトミ、ニケカラミシ

懐進していぬ海 此所を為大

水

あふ、自シ他ヨリソニリ名附こそ十分斗、人偏人情オ

ワキタシ左文ニ折我ニサタニ及ス、逆モキト己一人、自極モ大

逆モキツリ近ク城深こり連ク、リシタトナリ古人、分

岩は俊かうカルヲ可具

月夜くお明く月

水

浦トミ、葉ニ、月夜く、トあぬ、海、白ク愁テ、白ト

夕リ但走ルモ云

瓦サセ何もう 招けを未枯く

水

月、言、様ハ、文ニ、テ、月夜く、ト、實ニ、名詞ニ、餘リ、招ケト

ワヤ、吹、秋、情、あ、移、シ、タリ

只、何、も、あ、る、その、名、の、を、あ

頂

うらえー 某しつ 山 卒のま

一画 室五七通ノ人ト是ヨリウシハ付ナリ

店裡の星の丈おとさ水

全

二方一季、付こ破し名筆ニ布子、取し袖ヨリ下り居しハ丈トカハ
てむこ店裡ハ赤梅片ニテ伊智色山ノ下歌し

旅次め舞ふ人の 幅つきて

通

二方、某ト云、某ノ字ノミナルヲ其ノ白ヲ執中ニテ不ノク
ニ方カウミニミタリ

系ハ赤いよ 月ハ 紙 状

全

袴キハ花ニ白短ハ襟ト云ニ白テ一勾 任立拍子付ト云但短
勾ニ月夜ヲ従フモモ何所ニ依ヘモ

月のまげ 縁のりとも日初し

頑

月夜ニ雲の丸ハ赤ト附ラおウ、キケニシカニテテ長キモノニ云ハニテ
長宗ナハ急々ウ中ニ形セタリ

主網はかる 博のまぢ

全

ニ方カウニミテ一頁、ニ方ノ如クナミタリモカノ曲ナト可ク
比村の産き不道者ありのありりり

荷分

十夜 福四五 けそ 両 識と じふ

残人

この部ノ人情し

かまへる 世と 返 庄し せ 氏 ち じ

分

物識ト云ケル人ノ方、上ニヨリ但井ノ中ノ陸ト云人し

又 匠 出 大 匠 の 碓 キハ

人

おウ、孤獨ノ人トミテ上ホ、勾ナラヌト云病氣有ラサムハ

秋の夜書のおとりの
珠碩

左部、長谷川口福、ニテねるもの、何、附、
め、系、い、細、け、お、お、そ、り、
子

長局、夜書、四、三、三、非常、め、系、人情、
目、の、く、ち、ま、く、ん、や、り、附、あ、る、
生、經

ニ、カ、ラ、ニ、作、こ、め、い、い、ハ、エ、マ、
り、あ、り、又、い、ろ、あ、あ、を、よ、く、
里、京

お、白、病、夜、疾、痛、人、ト、テ、祝、情、
空、の、お、り、一、と、生、附、あ、り、
泥、古

も、人、吐、ク、白、サ、シ、テ、ニ、カ、ラ、
る、お、り、
乙、片

お、白、病、夜、疾、痛、人、ト、テ、祝、情、
い、と、里、こ、り、
怒、流

お、白、病、夜、疾、痛、人、ト、テ、祝、情、
又、知、れ、て、
泥、古

百、姓、
そ、れ、世、ハ、
里、京

外、方、
を、舟、
中、經

お、白、病、夜、疾、痛、人、ト、テ、祝、情、
お、り、表、
乙、片

を、令、
乙、片

お、白、病、夜、疾、痛、人、ト、テ、祝、情、
お、り、
乙、片

タリ御前ハ下万後ニ是ノ亮百ト云九十六ノ百ヲ皆イ百ト云但御前ノ

詞ハ琳ス右ノ詞ニモ二万一ニテ

日系ノ座屋をとりてさふせ 孫 頂

村方、皇孫殘ニテ日系ハ日仍の術、心ナリ

若大深の境のかゝる子ノ歌 娘 頂

系ス、并高ト付ナリ但ニテラセト云、塔カラハ高ト但ニテラ一ニテ

ニ 仲ナリ
来、まふつけても都高も水月 里 東

塔、カラキト云、口ニ合ヌ、ヨリ、そま、ナリ、テ、云、ク、ク、ク、大座、ノ、三、ニ、

塔、天竺ニテ丸ニ何長女、食力、意、ト、位、シ、ト、カ、ヤ

まゝ見まゝの坊色は出ぬ 孫 頂

おウツ有、進、人、自、ト、云、テ、
アル詞、ハ、宗、法、ノ、罪、人、ニ、ヤ

附、意、ハ、何、シ、ヒ、ト、サ、ワ、キ、ハ、ヒ、キ、シ

香あり、香好の、荒のひと、深 乙 頂

古きをくらけ、ゆる、漏、念

古きをくらけゆる漏念 聖 經

水、波、層、又、仰、止、テ、言、時、以、ノ、ナ、ト、云、コ、ス、タ、リ

晴く、ハ、る、性、道、ト、鳥、帽、子、と、云、テ 念 頂

余、礼、ハ、ク、テ、ト、テ、附、名、ト、但、漏、念、ハ、ハ、陽、ヲ、思、ヒ、テ、云、タ、ル、鳥、帽

子、ト、但、ノ、コ、ル、ト、云、テ、時、ト、ハ、ヒ、キ、シ

配所をえん、と、ふ、供、怖、の、陰 辰 古

余、礼、ハ、ク、テ、ト、テ、附、名、ト、但、漏、念、ハ、ハ、陽、ヲ、思、ヒ、テ、云、タ、ル、鳥、帽

子、ト、但、ノ、コ、ル、ト、云、テ、時、ト、ハ、ヒ、キ、シ

香あり、松遊、席の、位、や、り、え 孫 頂

庭、元、言、テ、西、京、ナ、リ

掃き清く真のつるを意のり 昌之席

あかニキヤカトルヲ世に又ハ五代ナリ

掃き清くして清きなり 昌之席

世ニナラ後ニ掃き清くして清きなり 昌之席

ニカカラニ一作

神サ林のほそのおそし坊に流 及三目

あかニカニキヤカトルヲ世に又ハ五代ナリ

附ナリ南々ハ林秋のあかハ掃き清くして清きなり 昌之席

風名のか減のしつらあつり 中徑

ヒニリナナル作有ヨリ 風名ヲカ上ル作ニテニカニキヤカトルヲ世に又ハ五代ナリ

さうのさうしつらあつり 二書

神ト云ニスリ神ト云ニスリ神ト云ニスリ神ト云ニスリ

さのやうさうしつらあつり 乙ノ如

さのやうさうしつらあつり 乙ノ如

神系よ離のまじり掃き清くして清きなり 神後

又ヤサニ他巻移トハ清くして清きなり 神後

又ヤサニ他巻移トハ清くして清きなり 神後

んのでおのりさうしつらあつり 昌之席

昌之席の神ト云ニスリ神ト云ニスリ神ト云ニスリ

神系よ離のまじり掃き清くして清きなり 昌之席

後付又ニカニキヤカトルヲ世に又ハ五代ナリ

神系よ離のまじり掃き清くして清きなり 昌之席

あかニカニキヤカトルヲ世に又ハ五代ナリ

附ナリ

後入の仲名提て月十日

三秀

新出のヨリ代り、仲名提て月十日、未、此、又、振子、三、
テ、ト、京、ト、又、申、申、所、を、
及、之、月

日、夜、ラ、ケ、テ、サ、リ、用、ハ、シ、ク、用、シ、ト、テ、却、止、シ、
タリ、但、申、京、ハ、大、カ、タ、近、リ、タ、シ、ト、未、タ、バ、ウ、ニ、見、エ、ト、
ヤ、シ、タ、シ、ト、白、セ、タ、リ、

蓋 おもろくぬの町家の今年糸 空匠

地、心、對、附、シ、曲、を、作、リ、カ、サ、ニ、變、ズ、又、横、糸、
糸、を、と、ろ、ふ、心、筋、の、ち、め、を、
二、唄

多、日、雨、及、リ、形、リ、有、リ、細、く、シ、糸、
と、モ、シ、カ、シ、但、テ、シ、タ、ハ、餅、の、如、く、
シ、口、叩

二
う、其、の、書、る、日、ハ、人、と、り、と、
是、ウ、ハ、オ、ク、シ、ガ、
ノ、中、立、ト、シ、タ、リ、

汗をぬふとぬの出るゑる 除痰

汗、を、ぬ、ふ、と、ぬ、の、出、る、ゑ、る、
後、
十、日、
ヨ、リ、四、十、八

傷てうき木綿袴の着か 里糸

傷、て、う、き、木、綿、袴、の、着、か、
是、人、の、衣、ハ、出、る、
此、乃、ハ、支、那、ノ、ウ、ク、

振りをよくぬいてきとぬの 探士心

振、り、を、よ、く、ぬ、い、て、き、と、ぬ、の、
ニ、カ、
ノ、カ、

鳴り不葉落の下をたけつけ 昌唇

其の思ふ極喜ヲ歌ニト奴心ヲせぬ所ヲ抑テ控メリト云傳

日經小の蘇神ちて 悔おせけ 心あり

其界ナルは、今叙し日經ヲ福自ニ方一云あり

繩を付あつる 寺の 上之次 及痛

日經ト云酒者名、作有ヨリ 在村ち、垣路ヲ附アリ

花のひまぎの日清小昔はこゝろて 中徑

從ラ集ルツ花のノ葉ホトニテ日清ヲ付アリ

さくら小松よ獅子の具 風 二嘯

日清、真ニ舞ハ八作ノ但その衣キ行ニニ面カニシキ獅子アテラリ

○四野

嘯乃をし苗代町の 南大師 心あり

嘯乃南大師ヲ云ふる事、因五を名アリ是ハあり口ホリ書式ナリ

まふ依ニニサニ通リ苗代ヲ云ル式ニ但苗代南館出ニ南大師ハ

此亦有テ一勾、余情ニ

いれハをぬじ形神の歌 形原

苗代、細ヲ云歌ニ世ハ又四入ナシハ、意、中流ヲ世ナリ

此苗代のワやくあつり 妻の心 全

あつり、長子ナルヲ初、後ナリ但此は苗代、大々ニテ小歌ヲ食

フナシハ、はツ風ヲ友々ニ知スニ非ヌ、心ま、んヨキ候ニ、心ト云ハ

こゝろあつりしと、門口の文字 秀

形、心ヤケル、心ノヤクト云ニ、操、ヲカニキトトカセシ

月形不利体のあをを糸わりけ 全

あつり、長子ナル、仰アルヲ、物好ニ、利体ニ、門ト云ニ、鼻ニカケ

ト云文字ヲ月形ニヨミタハ、作名白シ

度く芋をとらひきし

頌

月辛ノ後ハ文ニ舞ハカリハ自惚ノ作有ヨリ世ハルトトシタリ
中ハミカフ、れくと呼やむ

亦

あウハ芋圃ヲ夕下シハセ、後有テ芋圃ヲ辰ニ云ヘラニシテ
ツツシトトシテ洞ニ空ヤタリ

片是くの木版取すめ

頌

虫夏ヨリ晴ニキシトト下路ヲ穿ル根子ヲ附テツツシトト云
物ノ破シ形ハカハレ作有ヨリ片是くハ空ヤタシタリ

折文とるもきりるお流す

亦

片是くハ空ヤタシタリ程口穿ルト云ニ疑ヒハシテ折文ヲ
立メルトシタリ

後くきりり侍

頌

二方カウニナリ

流すハキキとお不自中なるを屋不

亦

知ラヌ神ノ事名を衣ヲ附テ表化ニ志ハ固ニ流スルハ白シ

狐のふるるあかすおき

頌

世急ハ急ク成リ

月物も時をしのぐの云の云

亦

狐トミヨリ時を月ノ流シキヲ極句ニ奉天ノ流シキヲ極タリ

其理もあはれも懐とまきすめ

頌

あウノ流シキ仰ヨリ世急ニ討死ノ方、あウノ流シキハへシ
ムリニ成メルト云ニ女ノ流アリ

つらぬそ大根もあはれ

亦

揚子江ニ流シキ、立メルト云ニ女ノ流アリ

イラヌトテ云詞ニ云セタリ

揚 阿子子し梅鶯子 撫りし

頌

故昔侍天子ヲ 却るニテ大儀を遠ヘキ者ニテ 執中ニテ附方ニテ 縁鶯ニホリタルニ云ク 但ニ方ニ云テ 附方ニテ

江ノ 也と云々 阿子子 撫りし

亦乃

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

全

云々 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

頌

云々 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

火と吹そりし 源の 祀又

秀

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

本寺ハ云々 美徳の 祀也

頌

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子の 祀也 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

秀

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

業を痛む人の 姿を 画りて

頌

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

秀

阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子 阿子子

や一日の柳木の芽がとつ

秀

まゆの文にさすてしに芽を、面白

ちと糸、少を踏川つる名りて

碩

原云、文、初、有、さ、さ、決、有、始、終、意、附、し、ま、ゆ、川、つ、ら

古果、白、こ

小野くま博ふと中る陽也

秀

まゆ川、川、さ、さ、石、さ、さ、凡、所、有、り、故、也、さ、さ、さ、さ

小野、く、ま、博、ふ、と、中、る、陽、也、ま、ゆ、川、つ、ら、白、こ

心せよ其の事 秘伝終

